

薫泉

学校の目標
 社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
 ・よく考え、進んで学習する子ども
 ・いつも元気で、じょうぶな子ども
 ・こころ豊かで、やさしい子ども

地域の皆さんに感謝

副校長 入澤和浩

長い夏休みも終わり、学校に元気な子どもたちの声に戻ってきました。この夏も、子どもたちのために、保護者・地域の皆さんが様々な活動を行っていただきました。

七月後半には、今泉自治会・安方南町会・安方北町会・多摩川二丁目町会の方によるラジオ体操が行われ、多くの子どもたちが参加しました。延命寺や矢口渡商店街で行われた盆踊りでは、運動会で演じた「矢口ソーラン」を元氣いっぱい披露しました。またお父さんクラブ主催による「多摩川源流体験」にも五・六年生の子どもたちが参加し、貴重な体験をすることができました。「サマーワークショップ」も五十五講座実施され、体験活動を中心とした参加型の活動が行われました。

「サマーワークショップ」は大田区の施策を受け、夏季休業中に児童・生徒の体験活動の充実を図ることを目的として、「夏のわくわくスクール」として区内の全公立小中学校で行われているものです。矢口小学校では「サマーワークショップ」という名称で平成十二年から行われており、今年で二十年になります。

ただ座って講義を受けるよりも、人と議論したり実際に試してみたり、学んだことを人に伝えた

りすることで、学習の定着が増すという報告があります。話を聞いた時は分かったつもりでも、人に説明したり実際に行ってみたりすると、自分の理解が不十分だったことに気付くことがあります。そしてもう一度考えを整理したり再び試したりすることで理解が深まっていきます。サマーワークショップで学んだ体験を、これからの学習や生活の中で生かして行ってほしいと思います。

これらの活動は、矢口応援隊（学校支援地域本部）の皆さんをはじめ、PTA役員や各サポーター、ボランティアの皆さん、お父さんクラブや町会等の地域の皆さんに支えられているものです。今年も暑い中、子どもたちの活動を支えていただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

特別の教科道徳について

平成三十年度（昨年度）から、「特別な教科 道徳」が始まりました。以前の道徳授業は、教科外の活動として位置づけられていましたが、国語や算数のように、一つの教科として位置づけられました。その背景には、いじめ問題など、社会や子どもたちを取り巻く環境の複雑化があげられます。道徳の授業では、『自分自身』（善悪の判断、努力、個性など）、『人との関わり』（思いやり、礼儀、友情など）、『集団や社会との関わり』（規則、公平、家族・学校生活、伝統文化など）、『生命や自然との関わり』（生命の尊さ、自然愛護など）の大きく四つの関わりについて、各学年で一年間かけて、考え話合ったり、自分を振り返っていったりしながら、理解を深めていきます。普段の生活の中でも、様々な場面で自分も周りの人も気持ちよく生活するためにどうすればよいか、考えていけると良いです。

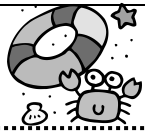
九月の生活目標

落ち着いた生活をしよう 生活指導部

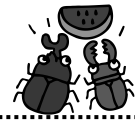
長いようで短かった夏休みが終わり、楽しそうに思い出話をする子どもたちの声が学校中に響きわたっています。
 さて、校門や校内で挨拶をしていますと、まだ眠そうな顔をしている子供の姿が見受けられます。「早寝早起き朝ごはん」を基本に、徐々に規則正しい生活リズムを取り戻して、健やかな体と元気な心で、落ち着いた学校生活を過ごせるようにしていきます。

九月の行事予定

二日(月)	特別時程 始業式 防災訓練(集団下校)
三日(火)	給食開始 安全指導
四日(水)	保護者会(四・五・六年)
	夏休み校内作品展始
六日(金)	保護者会(一・二・三年)
九日(月)	委員会活動 プール納め 生命尊重週間開始
一〇日(火)	なかよし班(昼) 安方中学説明会(六年)
十一日(水)	読み聞かせ 計測一年 漢字検定
十二日(木)	計測二年
十三日(金)	計測六年 児童集会
十四日(土)	特別時程 土曜授業日(三時間授業) 土曜補習教室(四校時) 生命尊重週間終 夏休み校内作品展終 エンジョイタイム(昼)
一七日(火)	とうぶ移動教室前日健診(六年)
一八日(水)	とうぶ移動教室始(六年) 計測三年
一九日(木)	計測四年
二〇日(金)	体育朝会 とうぶ移動教室終 計測五年 給食試食会
二四日(火)	なかよし班(全校遠足打ち合わせ)
二七日(金)	音楽朝会
二八日(土)	PTA 星空映画会
三〇日(月)	委員会 生活リズムチェック週間始



2年生の窓



三月までの一年生が、 二年生になってぐんと成長しています。

二年生は、現在、七九名、新しい教室と新しい友達、新しい先生に慣れて元気に生活しています。

【学校たんけん】

五月には、なかよし班のメンバーでグループを作り、学校たんけんをしました。去年、今の三年生にしてもらったことを思い出しながら、準備を進めました。

まず、学級ごとに校舎内を回ったあと、学校の中で教えてあげたい教室・特別室を話し合っただけではありません。次にだれがどの教室を担当するのかを分担します。次にどんな説明をするのか考えてグループで練習もしました。教室・特別室に掲示するポスターもかきました。

本番では、矢口小学校の良さを工夫しながら伝えていくだけではなく、「ゆっくり歩く」「みんなが一緒に歩けるようにこえをかけてあげる」などの配慮をしながらまわっていました。一年生に教えることで自分たちの成長を感じました。



【大すきいっぱいわたしのまち】

町たんけん

学校を出て、矢口の町を歩きました。まず、歩道橋を越えて、安方神社安方商店街を歩いて矢口商店街に戻ってきました。矢口商店街は、一つ一つお店を見ながら進み、消防署や公園を確認して一度学校で休憩です。

次に、延命寺方面へ歩きます。歩道橋を渡って、延命時、保育園、矢口児童館と公園を回って、学校に帰ってきました。

二回目の町たんけんは、興味のある場所を選んでグループを作りました。①消防署・駅グループ ②多摩川図書館グループ ③児童館と児童公園グループ ④神社・お寺グループ

②に分かれて改めて課題をもって訪問して。詳しく教えていただいたり、質問に答えていただいたりしました。

自分たちの住む町の広がりを感じ、素敵などに気付くことができました。



授業紹介 一年生「みんなであそぼうなつ」

一年生は生活科の学習で「みんなであそぼうなつ」を行いました。「砂遊び」「シャボン玉遊び」「水遊び」の三種の遊びを工夫し、楽しみました。

「砂遊び」では、シャベルやバケツ、カップなどを使い砂遊びをしました。それぞれで集中して遊ぶ姿もあれば、クラスの友だちと協力してトンネルを掘ったり、山の周りに水路を作ったりする姿もありました。「川をみんなであそぼうなつよ！」「こっちにも砂もってきて！」など声を掛けあい活動する様子が見られました。

「シャボン玉遊び」では、ストローやラップの芯、ハンガーなどを使ってさまざまな大きさのシャボン玉作りに挑戦しました。自分たちが持ってきた材料を使って工夫をしみんなで楽しむことができました。「そとと吹くと大きなシャボン玉になる。」などたくさんの発見がありました。

「水遊び」では、ペットボトルやケチャップの容器を使って水の掛け合いをしたり、旗を倒すなどして遊びました。広い校庭で水遊びをした後は「ずぶぬれになって楽しかった！」と充実した表情が見られました。

それぞれの活動で、計画を自分達ですべて工夫して遊ぶ楽しさや、友だちと相談し合い、よりよい遊びを創り出すことができました。二学期もこの学習は続きます。今度は落ち葉や木の実を使い秋の遊びをしていきます。季節を感じ、様々な発見をしてくれることが、今から楽しみです。

